



誠実に生きる

先週の古典の授業の時にちょっとだけ話題にしたのだが、NHKで「世界のプリンセス」という番組をやっていて、夕食時にたまたま見てひどく感動したのが、ノルウェーのメッテ＝マリット妃に関するエピソードである。ネットで検索すればすぐ出てくるが、Wikiの記事を引用すると……

▼ジャーナリストの父スヴェン・ホイビーと母マーリット・ヒェッセムの子として、クリスチャンサンで生まれた。兄2人と妹1人がいる。幼い頃に両親が離婚、母に育てられた。

▼交換留学生としてオーストラリアの高校で学んだことがある。少女時代の生活は荒れたものであり、麻薬に手を染めたこともあった。1997年、当時交際していた男性との間に子を身ごもったが、男性は妊娠が判明すると彼女を捨てたため、シングルマザーとして長男のマリウスを出産。これを機に彼女は今までの生活を改めることを決意して麻薬を断ち切り、育児をしながら飲食店などで働くかたわら、猛勉強をしてノルウェー最高学府のオスロ大学へ入学した。

▼オスロ大学の学生だった1990年代後半、王太子ホーコンとロックフェスティバルで意気投合。マリウスを連れてホーコンと同棲を始めた。王太子が結婚もしないまま同棲するのはもちろん、彼女がシングルマザーであることも国民の驚きを持って迎えられた。また、2人の交際が深まるにつけ、マリウスの父親が麻薬常習者で服役していること、彼女自身も過去に麻薬パーティーに参加した経歴があることなどが次々と暴露されたため、連日マスコミは彼女らを非難した。

▼2000年12月に正式に婚約が発表され、その

際の会見でメッテ＝マリットは涙ながらに自らの過去を国民に謝罪し過去との決別を約束。この会見で好感度を急上昇させ、国民の支持を獲得した。2001年8月25日、オスロ大聖堂で成婚。

……と紹介されている。

番組では、「好感度を急上昇させ」という婚約の際の会見の様子が放映されたのだが、その会見が本当に素晴らしくて、私もいたく感動した。自分の過去に関する事実を認めた上で、「過去は変えられないが、未来を変えることはできる」と毅然と、かつ真摯に述べた彼女の姿には、新しい人生に向けて旅立とうとする力強さのようなものが感じられたし、ちょっと格好つけて言うなら、自分の人生に誠実に向き合い、愛に生きようとする彼女の内面の真実が、如実に感じられる会見だったのである。

翻って、日本のテレビに登場する最近の政治家たちの姿はどうだろう。いくら言葉を飾ったり、いくら頭を下げたりしても、その背後に、その人の内面からあらわれる「真摯さ」や「誠実さ」が感じられるだろうか。私にはまったく感じられないのである。薄っぺらい知識で言葉だけを巧みに駆使する姿からは、未来も何も見えてこないのである。そんな時に見た彼女の姿だったから、余計に感動したのかも知れない。

*

私は、その会見は「誠実に生きる人間には未来を変える力がある」ことを伝える会見だったと思う。そのことを、進路を決める君たちにも、ぜひ伝えておきたいと思う。